年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（3学年用） 教科　地理歴史　科目 選択歴史

教　科：　地理歴史　　科　目：　選択歴史　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　F　組

教科担当者：（　A組：　三木　）（　B組：三木　）（　C組：三木　）（　D組：三木　）（　E組：三木　）（　F組：三木　）

使用教科書：（ 帝国書院　明解歴史総合　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解し、地理的調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の背景や、特色や相互の関連を多面的・多角的にとらえ、課題の解決を構想したり効果的に説明したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の諸事象について、理解しようという態度や課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの重要性を理解する。

科目　選択歴史　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代的な諸課題に関連する近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。また、その過程のなかで知識を身に着ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の背景や特色をとらえて多面的・多角的に考察したり表現できる。また社会的事象に対して疑問をもち、積極的に探究できる。	近現代の歴史の諸事象について、理解しようという態度や課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	D　グローバル化と私たち（復習） 【知識及び技能】 世界大戦後にそれまでの勢力に対する価値基準が変容し、多極化した世界情勢について理解し、それに伴い新たな課題が生まれたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 多極化する戦後における新たな課題にやグローバル化する社会において日本の立場や課題について考察し議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題として捉え、自らの考えをもち、それを実現に向けて具体的な案をだす。	・指導事項 冷戦で揺れる世界と日本 多極化する世界 グローバル化のなかの世界と日本 ・教材 教科書 ワークシート ・一人１台端末の活用	【知識・技能】（復習） 戦後より複雑化し、多様化した国際社会と、それに付随する政治的・経済的影響についてグラフや数値を正しく読み取り正しく理解している。 【思考・判断・表現】 大戦後における難民問題や経済格差、近代化に伴う社会問題を多面的・多角的にとらえ、将来を担う国際人の一人として考察し、実現に向けた具体案を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際関係で浮上する課題をを自分自身が担う未来の課題として主体的にとらえることができる。	○	○	○	14
	大使館訪問 【知識及び技能】 「渋谷学」の一環として、近隣大使館に訪問するにあたり、各国の歴史的知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と他国を政治的・経済的・文化的に比較し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来、国際社会を担う一員としての自覚をもち、国際間の友好的な関係性について考える。	・指導事項 大使館訪問する国の歴史と文化を扱う。 ・教材 各国史の図書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 相手の国や宗教的ルール、マナーを正しく理解することができる。自分とは異なる信条的なルールを尊重できる。 【思考・判断・表現】 日本と他国を比較する際に、他者の意見を取り入れるなどして、視点を変化させながら多面的にとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各国の文化に興味関心をもちより深く友好関係を築こうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		2
2学期	問いを立てる 【知識及び技能】 現在戦争をしている国を扱い、その国の歴史と対立の背景について、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 原因追求とともに、多面的多角的に事象をとらえ問いをたてて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の現状を積極的にしらべ、目標に向かうための案を具体的に考察する。	・指導事項 問いのたてかた及び、探究に繋げる方法を指導する。 ・教材 教科書 ワークシート ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 各国の歴史的背景と対立について理解し、宗教的・信条的だけでなく、経済的にも多面的・多角的にとら得ることができている。 【思考・判断・表現】 事象に対し、疑問をもち、問いを立てることができる。また、そのことについて深く調べ探究することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に調べ、理解しようとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
3学期	成果発表 【知識及び技能】 2・3学年で学んだ知識の基盤をつくる。 【思考力、判断力、表現力等】 2年間を通じて学んだ知識や、探究した内容を発表形式にまとめ表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 成果発表のための準備を積極的に行う。	・指導事項 発表方法、まとめ方、話し方指導 ・教材 インターネット・教科書・プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 自ら探究し、得た知識が定着し、活用することができている。 【思考・判断・表現】 理解したことや考えたことをまとめ、表現手法を工夫しながら発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に調べ、理解しようとしている。	○	○	○	18
							合計 70